



日本学術会議主催 公開シンポジウム

動き出す、 こどもまんなか安全社会

2023 オンライン開催

9.16 土 13:00
16:30

第1部

13:10 ~
こどもの傷害を減らす仕組みづくり

第2部

15:20 ~
動き出す、こどもまんなか安全社会

第3部

16:00 ~
総合討論

【開催趣旨】

事故によるこどもの傷害は多発しており、傷害データを活用し、こどもの傷害の数を減少させる仕組みの構築が急務となっています。第25期日本学術会議子どもの成育環境分科会では、見解（案）「こどもの傷害を減らすためのデータ収集および利活用の促進」を取りまとめました。

本シンポジウムでは、見解（案）で示した目指すべき社会像と、その社会像の実現に向けて動き出している新たな取り組みを紹介し、課題の指摘にとどまることなく、国や地域で始まっている新たな胎動を参加者と共有し、また、今後、社会実装を進める上での関係者間のネットワークづくりを促進したいと考えています。

【参加方法】

Zoom ウェビナー参加者 500 名（当日参加申請をいただいた方から先着順）開始時間になりましたら QR コードからご参加ください。



主催：日本学術会議臨床医学委員会・心理学・教育学委員会・健康・生活科学委員会・環境学委員会・土木工学・建築学委員会合同子どもの成育環境分科会

後援：公益社団法人こども環境学会、公益社団法人日本小児科学会、公益社団法人日本小児保健協会、東京消防庁、こども家庭庁、消費者庁、東京都

【問い合わせ】 NPO 法人 Safe Kids Japan (e-mail: info@safekidsjapan.org)

公開シンポジウム 「動き出す、こどもまんなか安全社会」

13:00 開会挨拶

山中 龍宏（日本学術会議特任連携会員、緑園こどもクリニック・院長）

13:05 ビデオメッセージ

小池 百合子（東京都・知事）

13:10 ～【第1部：子どもの傷害を減らす仕組みづくり】

司会：西田 佳史（日本学術会議特任連携会員、国立大学法人東京工業大学・教授）

日本学術会議見解（案）『こどもの傷害を減らすためのデータ収集および利活用の促進』

山中 龍宏（日本学術会議特任連携会員、緑園こどもクリニック・院長）

『こどもまんなか安全に向けた国の取り組み』

鈴木 達也（こども家庭庁成育局安全対策課・課長）

『チャイルド・デス・レビュー：安全な社会につなぐ多職種連携』

沼口 敦（国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学医学部附属病院・病院講師）

『こどもまんなかの安全エクイティ：多様な生活状況に合わせた公正性の実現に向けて』

大野 美喜子（国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター・主任研究員）

15:20 ～【第2部：動き出す、こどもまんなか安全社会の取り組み】

司会：山中 龍宏（日本学術会議特任連携会員、緑園こどもクリニック・院長）

『子供を事故から守る環境づくり』

横森 幸子（東京都子供政策連携室企画調整部・企画調整担当課長）

『成育こどもシンクタンクの取り組み』

森崎 菜穂（国立成育医療研究センター社会医学研究部・部長）

16:00 ～【総合討論】

モデレーター：太田 由紀枝（セーフキッズジャパン プロジェクトマネージャ）